

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ若松河田教室			
○保護者評価実施期間	2026/2/28		～	2026/3/20
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2026/3/4		～	2026/3/14
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制整備および利用者満足度の高さ	活動スペースの確保・清潔な環境維持、専門的支援の実施。保護者評価Q1～Q4(環境)とQ27～Q29(満足度)で全回答者(10名)がはいと回答。	現状の取組を継続し、スペース活用のさらなる工夫を進める。
2	保護者との日常的な情報共有・コミュニケーション	連絡帳・送迎時の声かけ・定期面談により保護者との情報共有が定着(Q15・Q20・Q21・Q22で全員はい)。	面談頻度を増やし、支援内容の丁寧な説明を継続する。
3	個別支援計画の作成・共有・実施の徹底	こどもの特性に応じた支援計画の作成・共有・実施が徹底されている(Q5～Q10でほぼ全員はい)。	6か月ごとのモニタリング結果を支援計画の改定に確実に反映させ、支援の質をさらに高める。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	サービス担当者会議・関係機関会議への参加が不十分	サービス担当者会議等への参加(Q26:4名いいえ)について「担当者会議には参加していない」との意見あり。こどもの状況をよく理解した職員が会議に参加できていないケースがあり、関係機関との連携強化が課題。	サービス担当者会議等が開催された際には、こどもの状況をよく理解した職員が積極的に参加し、関係機関との連携を深める体制を整える。
2	地域交流・父母の会・きょうだい支援の取組と周知が不十分	保護者評価でQ11(地域交流:わからない5名)・Q18(父母の会・きょうだい支援:わからない6名)への認知が低い。従業者評価でも父母の会(Q40:全員いいえ)は現時点では実施に至っておらず、自立支援協議会等への参加(Q33)も「参加機会が少ない」との意見があり、今後の取組検討が求められる。	保護者へ地域交流・家族支援の機会を周知し、具体的な取組の計画・実施を進める。
3	非常時対応・安全計画の保護者周知が不十分	保護者評価Q23(マニュアル・訓練)で「わからない」5名。従業者評価でも「訓練の実施は十分ではなく、今後マニュアル周知・訓練実施を進めていく予定」(Q46:いいえ4名)、「BCPの整備・訓練の実施機会を今後設けていく」(Q47:いいえ4名)との意見あり。安全管理体制の整備が共通の課題。	安全計画・各種マニュアルを保護者に文書配布し、訓練実施を周知する。